

2024年度 大阪産業大学附属高等学校 学校評価

1 めざす学校像

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」は、平凡な日常生活をきちんと送っていくことこそ偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。 日常生活の大切さ、努力の重要性を説く「偉大なる平凡人たれ」の建学の精神は、今、本校の次のような姿に現れています。 挨拶する声が響きあう学校。 夜遅くまで自習室で学習する生徒。 朝早くから自主練習に励むクラブ員。 生徒一人ひとりの努力をもっと励ましていける学校をつくっていきます。

2 中長期的目標

1. 教学改革 （1）授業内容の充実 （2）人格の形成をめざして （3）生活指導の充実 （4）課外活動の活性化 2. 進路指導の発展 （1）進路指導部の充実 （2）附属高校から大阪産業大学への内部進学対策 （3）他大学への進学対策 3. 防災・安全対策 （1）防災対策の徹底 （2）安全対策の徹底

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析〔2025年 1 月実施分〕	学校評価委員会からの意見
○生徒 別紙「2024年度 アンケート結果のご報告」参照 ・「授業アンケート」の結果 ・「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」の結果 ・「学校生活についてのアンケート」の結果	令和7年10月24日(金)に学校評価委員会を開催。各委員の意見は以下の通り。 保護者より 今回の報告で、本校が生徒にアンケートを取っていることを初めて知るとともに、アンケートの質問が多岐にわたっていることに驚いた。また、アンケートの回答結果に対して分析を丁寧に行っているところに、アンケートに真摯に向き合っている姿勢がうかがえた。報告の中で、地域が主催するイベントに参加し、地域の方との交流を深めているとの話があったが、保護者としてはそうした日常の学校の様子を知りたい。 受験を控える中学生やその保護者が学校を選ぶときには各校のHPを大いに参考にしていると思うので、学校のHPに大きなイベントや運動部の華々しい戦績を掲載するのもいいが、生徒の日頃の活動状況や取り組みがわかるような内容をもっと積極的に発信すべきではないか。 同窓会会長より 本校は運動部が盛んであり、各クラブとも大会で勝ち進むことが多いので、よく応援に参加させてもらっているが、応援に駆け付ける生徒や保護者が少ないのが寂しい。本校からもっと通知してもいいのではないか。 地域代表より 本校のボランティア部の生徒が毎週定期的に地域の子どもの相手をしてくれて助かっている。女子ダンス部、チアリーディング部、吹奏楽部の生徒も地域のイベントに参加してくれ、イベントを盛り上げてくれて感謝している。 大学教員より アンケートの質問に対する回答結果のほとんどがここ数年、本校が目標にしている数字を満たしているなので、それらの質問項目は省いてもいいのではないか。何年間も目標数値を達成している質問項目に対しては、その要因について新たな質問項目を設けたり自由記述させたりしてもいいのではないか。

3 学校の重点目標に対する評価結果

中 期 的 目 標	Plan		Do	Check	Action
	今年度の重点目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 教 学 改 革	(1)授業内容の充実 ア.魅力ある授業の展開	「授業はわかりやすいですか」(生徒アンケート)への肯定的な回答率90%以上	「授業は工夫されていますか」(生徒アンケート)への肯定的な回答が95%となっているのでわかるとおり、ICT機器を活用し、生徒の視覚に訴える授業や、生徒が主体的に取り組める授業に取り組んでいます。	肯定的な回答率93%で達成	わかりやすい授業からさらに発展させ、学力がついたことを実感できる授業づくりに取り組んでいきます。
	イ. ICT 教育の推進	「先生は、プロジェクターなど ICT 機器を積極的に活用している」(生徒アンケート)への肯定的な回答率90%以上	一 昨 年 度 から 入 学 生 に 一 人 一 台 Chromebook を所有させ、本年度で3学年の生徒全員が所有することになりました。ICT機器の特性を活かした教育を進め、年々活用率が向上しています。 また、授業での活用だけでなく、生徒一人一人の学力に応じた学習をいつでもできる「駿台サテネット21」というアプリも導入しています。	肯定的な回答率95%で達成	コース・教科の特性に応じたICT機器の活用を進めていきます。
	ウ. 教員の資質の向上	「視聴した動画は自分の仕事に役立つと思う」「本日の講演内容は役に立ちましたか」(教員アンケート)への肯定的な回答率80%以上	夏期に教員対象の研修動画の視聴を促しました。年度末には生徒支援部主催、ICT部主催の教育研修会をそれぞれ行いました。	肯定的な回答率98%で達成	生徒支援部主催の教育研修会では、研修会終了後に実施するアンケートで、研修に取り上げてもらいたいテーマを回答してもらい、次回研修の参考にしています。
	(2) 人格の形成をめざして ア. 地元から愛される学校づくり	学校関係者評価委員会での地域住民の方の意見	チアリーディング部、ダンス部、吹奏楽部が地域のイベントに参加し、地元の人たちとの交流を深めました。	地域の催しに参加してもらい、非常に盛り上がったとの感謝の言葉をいただきました。	今後も積極的に地元の人たちとの交流をおこない、本校の教育活動に対する理解を深めていただくように努めます。
	イ. 平和・人権教育の推進	「学校はいじめを許さないようにしっかり取り組んでいる」(生徒アンケート)への肯定的な回答率90%以上	いじめ実態調査(年5回)、人権教育週間(6月)、人権啓発週間(9月)、人権フォーラム(11 月)を実施し、人権の啓発に取り組みました。 平和について考えてもらう機会として、ウクライナ紛争とパレスチナ問題を取り上げ、戦争の悲惨さやなぜ戦争が起きているのかその理由について考えてもらいました。	肯定的な回答率93%で達成	平和学習・人権学習では、教員・生徒に自分のこととして向き合ってもらいたい課題を適時取り上げていきます。
	ウ. 「面倒見の良さ」と「厳しさ」の両面から迫る教育の実践	「学校は生徒指導にしっかり取り組んでいる」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	クラス担任と教科担当者やクラブ顧問、クラス担任と保護者との連携をとりながら、学力・生活指導を進めました。	肯定的な回答率98%で達成	本校は推薦制度を活用して大学に進学する生徒が多いので、日頃の生活態度が将来の進路に直結していくことを引き続き指導していきます。
	エ. 学校行事を通じて生徒の積極性を引き出す	「生徒は、学校生活に積極的に取り組んでいる」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	学校行事に生徒が積極的に参加できるような枠組み作りを行い、生徒もそれに応えてくれています。	肯定的な回答率90%で達成	生徒が積極的に学校行事に取り組み、行事の運営も教員主導から、生徒と教員が協働して作り上げる形に変化しています。

1	教 学 改 革	(3) 生活指導の充実 ア. 挨拶の励行	「生徒は、挨拶をきちんとしている」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	運動部に所属する生徒たちを中心に元気な挨拶が交わされ、その姿が他の生徒にも波及しています。	肯定的な回答率94%で達成	運動部員の元気な挨拶だけでなく、教員から生徒への挨拶も生徒たちに大きな影響を与えているので、今後も継続していきます。
		イ. マナーやモラルの向上	「この学校の生徒は、携帯電話・スマートフォン使用のルールを守っている」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	入学直後の新入生研修で生徒指導部よりSNSの誤った使用をしないように啓発をしています。また、クラスHRや学年集会などでも折に触れて指導しています。	肯定的な回答率84%で未達成	携帯電話に関する校則を遵守する指導とともに、携帯電話使用に関するマナー・モラルの重要性を訴えていきます。
		(4) 課外活動の活性化 ア. クラブ加入率	全校生徒のクラブ加入率65%以上	本校はクラブ活動と学業との両立を目指す生徒が多くおり、充実した学校生活を送っています。	クラブ加入率60%で未達成	この数年は加入率が伸びています。生徒が学校生活を充実させるためにも、今後もクラブへの加入を積極的に呼びかけていきます。
		イ.「強化指定クラブ」の強化	クラブ戦績	強化指定クラブ(アメリカンフットボール部、硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、テニス部、柔道部、ウエイトリフティング部)は、スポーツ推薦制度を活用し優秀な生徒の獲得に努め、熱心で充実した練習で全国大会出場をめざしています。	アメリカンフットボール部 全国大会 ベスト8、ラグビー部 大阪府大会 準優勝	強化クラブではありませんが、少林寺拳法部は全国大会出場の常連で、素晴らしい成績を残しています。また、女子ダンス部も全国大会において優秀な成績をあげています。
		ウ. 文化・芸術活動の充実	芸術鑑賞の充実 文化部の活動	生徒の感性に刺激を与えられるように、高校生にとって鑑賞の機会の少ないジャンルの芸能を鑑賞する取り組みを行っています。 また、文化部においても運動部に劣らず活発に活動をしており、成績でも吹奏楽部が安定して優秀な成績を収めています。	本年度は影向舎 star lights によるゴスペルを鑑賞しました。	生徒が興味を持ち、感動を与えられるように事前・事後の教育にも取り組んでいきます。
2	進 路 指 導 の 発 展	エ.「学業とクラブ活動の両立」をめざして	「クラブ活動と学業を両立させるよう取り組んでいる」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	クラブ顧問、クラス担任がそれぞれクラブに加入している生徒の成績に関心を持ち、適切な指導をおこなっています。	肯定的な回答率91%で達成	学業にしっかり取り組んでこそそのクラブ活動という考えを引き続き指導していきます。
		(1) 進路指導部の充実 ア. 生徒の多様な受験(進路)への対応	「学校の先生は、進路についての情報をよく知らせてくれる」(生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	系列の大阪産業大学への内部推薦制度を活用して大学進学する生徒を中心に、スポーツ推薦制度、他大学との高大連携プログラムで進学する生徒、一般受験で大学合格をめざす生徒と、多岐にわたる生徒の進路希望に対応する指導を行っています。	肯定的な回答率91%で達成	進路指導部は学年と連携し、進路に必要な情報を共有するようになっています。
		(2) 附属高校から大阪産業大学への内部進学対策 ア. 高大連携の充実	予定していた高大連携プログラムの実施状況100%	本校進路指導部と大学の入試センターが中心になり、生徒たちが後悔しない進路決定を行えるよう様々な高大連携プログラムの取り組みを行っています。高大連携プログラムは内容をより充実させるため毎年見直しを図っています。	予定していた各種プログラムは滞りなく実施	本校と大阪産業大学との連携を緊密にし、各種説明会が充実したものになるように取り組んでいきます。

	(3) 他大学への進学	進学実績の向上	特進コースは、週39時間授業、放課後の特別講座、早朝・終礼テストを実施し、大学入試に合格するための取り組みをおこなっています。本年度から特進コースに受験指導主任を置き、受験分析会を開催するなど、より受験の成果が上がる取り組みを行いました。	国公立大学の合格者11名、関関同立の合格者36名、産近甲龍の合格者202名で、前年度並みの合格者数を維持できました。	特進コースを中心に、進学実績の向上に努めていきます。
3 防 災 安 全 対 策	(1) 防災対策の徹底 ア. 防災意識の向上	防災訓練	避難経路を確認させながら、生徒を校庭に誘導する避難訓練を行う予定でしたが、天候が悪かったため中止となりました。しかし、生徒に火災や地震が発生したときに発動する火災報知器や緊急地震速報の音を放送し周知させるとともに、避難経路も確認させました。	実際の移動を伴う訓練はできなかったが、生徒たちの防災への意識を高めることはできたと思います。	災害発生時に近い状況を想定した訓練の実施を計画していきます。
	(2) 安全対策の徹底 ア. 通学時における安全対策の強化	「生徒は、自転車や歩行の交通ルールを守っている」 (生徒アンケート)への肯定的な回答率85%以上	「交通安全週間」を設け、各クラスで担任が、特に自転車の乗車マナーの向上やルールの遵守について啓発しました。	肯定的な回答率89%で達成	折に触れて、クラス担任を通じ、生徒に乗車マナーの向上について啓発していきます。